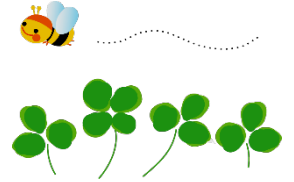


# すてっぴ



新しい環境に飛び込む人も多い季節です。

いろいろな場所でいろいろな人からかけられる言葉に、「ん？」と感じたら、読んでみてください。

早く絶版になってほしい

#駄言辞典

日経 x woman 編

日経 BP 2021



「就活は女性らしくスカートで」「いいお嫁さんになるね」「女なのに飯くらい作れないとまずいだろ」(本文より)

「駄言」とは「女はビジネスに向かない」のような思い込みによる発言。特に性別に基づくものが多い。相手の能力や個性を考えないステレオタイプの発言とありますが、その「減るべき駄言」をあつめ、早く絶版になることをめざしてつくられたのが本書。ここに載っている言葉を駄言と思うか思わないか、年代や育った環境でも違いが出てくるのでは…。後半は、様々な分野で活躍している方々に「なぜ駄言が生まれるのか」をインタビュー。さらに「駄言にどう立ち向かえばよいのか」も考察。「駄言」をいうのが男性だとは限りません。

モヤる言葉、ヤバイ人

アルティシア著

大和書房 2021



ご飯を作ったり、子どもの面倒を見たりする友だちの夫を見て、「優しい旦那さんだね」って言ったことはないだろうか。これが逆でも同じことを言うだろうか? 「家事・育児は女の仕事」という無意識の偏見がそこにあるのでは、と著者はいう。また、著者の産婦人科医の友だちは、「自分は子供を産んだことがないくせに」と陰口を言われるという。何万件もの出産を手掛けてきた医師に向かってこんな発言をするのは、「女は子どもを産んで一人前」「子ナシより子持ちが上」という社会に刷り込まれた偏見のせいでは? そんなモヤモヤも「モヤる言葉に言い返す方法」や「ヤバイ人から身を守る方法」など「言葉の護身術」を学べば生きやすくなるはず。



ほかにもこんな図書があります

職場で使えるジェンダー・ハラスメント対策ブック: 小林敦子著 現代書館

モラル・ハラスメントー職場におけるみえない暴力: マリー＝フランス・イルゴイエヌ著 白水社

10代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」: 森山至貴著 WAVE 出版



せっかく働きはじめたのに  
うまくいかないときもある。  
働くって何だろう...  
しくじったら、即アウトの  
社会なんてありえないよ

働く、働かない、働けば

巳年キリン著

三一書房 2017

働くということのつらさ、働く上での問題点等を、一歩引いた客観的な目で見つめています。やわらかなタッチの漫画です。



## 新着図書紹介



学校に行かない君が

教えてくれたこと

今じんこ著

オーバーラップ 2023



「この時代に不登校に偏見なんてないよ」そう思っていた「私」。いざ長男に、入学早々「学校に行かない」と宣言されてからの混乱、親としての苦悩。悩んで迷って、いろんな鎧を脱いで、自分たちなりの答えにたどり着くまでを漫画で描いている。不登校は親のせい？学校に行かないと大変なことになる？子どもに何か問題がある？答えは本の中に。

それ、フェミニズムに  
聞いてみない？



それ、フェミニズムに  
聞いてみない？

タビ・ジャクソン・ジー、  
フレイヤ・ローズ著

明石書店 2024

フェミニストたちは女性たちが日々もやもやする様々なことを解決しようと試みてきた。その時代の彼らは女性たちにとって大事な役割をしてきたが、今だ状況が変わっていない。例えばベル・フックスやボーヴォワールの言葉、考えを借りて現代女性のもやもやの解決案を探るフェミニズム入門書。

38の異を  
経験

石原燃  
大橋由香子

誰も代弁  
できない声

わたしたちの中絶

わたしたちの中絶

石原燃、大橋由香子著  
明石書店 2024

本書は、日本で女性たちが受けてきた中絶にまつわる長い歴史を振り返り、実際に経験してきた女性たちに取材をしている。子どもを産まなければ非難され、妊娠しても、産んでいいかどうか姑や夫に伺いをたて、おろしなさいと言われれば、それに逆らうことは許されなかった時代があった。そして、医者未熟な手に命をかけて処置にのぞんだ女性たち。自分の体は自分のものではなく、産む・産まないを決めることはできなかった。

地方で拓く女性のキャリア

野村浩子著

光文社 2025



東京一極集中が進む中、38の道県で男女ともに地方からの流出過多で、うち32の道県で女性の流出が男性を上回るという（本文より）。「若い女性はなぜ、地方から出ていくのか」。自治体の間で「若い女性対策」が注目を集めている。地方で働く女性たちに取材した著者は言う。様々な立場、職種の女性たちが抱える大きな課題が、ジェンダーバイアスとの闘いである点は共通していたと。

ジェンダー・

ディスカッションブック

プラン・インターナショナル・  
ジャパン著

合同出版 2024



「男の子は泣くな」「女の子は赤のランドセル」こんなジェンダーバイアスをはじめ、国内外の多様なジェンダーに関するテーマをとりあげ、主に小学生から高校生を対象としてクラスやグループでディスカッションを行い、ジェンダーについての考えを深めることができる本。具体的なディスカッションの進め方やダウンロードできるシートもついている。

\*ジェンダーバイアス／男女の役割について固定的な観念を持つこと。

性別による思い込みや決めつけ。

書 名	著者名	発 行
女 8 0 歳の壁	和田秀樹	幻冬舎
昭和 1 0 0 年	古市憲寿	講談社
ちょっと気になる「働き方」の話 第 2 版	権丈英子	勁草書房
「キャリアデザイン」って、どういうこと？	武石恵美子 [ほか]	岩波書店
「ひとり起業」最初の一步	小田恵理香	R a s h i s a 出版
ジェンダーで学ぶ社会学（第 4 版）	伊藤公雄 [ほか]	世界思想社
リーダーシップはみんなのもの	ジュリー・E・オーウェン	ナカニシヤ出版
だったら、あなたもフェミニストじゃない？	アルテシニア	講談社
産む気もないのに生理かよ！	月岡ツキ	飛鳥新社
老いを読む 老いを書く	酒井順子	講談社
阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか	阪本真由美	慶應義塾大学出版会
科学的根拠（エビデンス）で子育て	中室牧子	ダイヤモンド社
分離はやっぱり差別だよ。	大谷恭子	現代書館
子どもをうまく愛せない親たち	橋本和明	朝日新聞出版
更年期	高尾美穂	新星出版社
片付けてるのに片付かないので、東大卒の整理収納アドバイザーに頼んだら部屋が激変した	米田まりな	大和書房
ふたたび歩き出すとき 東京の台所	大平一枝	毎日新聞出版
P a g e b o y エリオット・ページ自伝	エリオット・ページ	D U B O O K S
美しい人	佐久間文子	芸術新聞社
歌集 ゆふすげ	美智子	岩波書店
へこたれてなんかいられない	ジェーン・スー	中央公論新社
文化の脱走兵	奈倉有里	講談社
スフィアハンドブック 2018	Sphere Association	支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク
生殖記	朝井リョウ	小学館
青い壺	有吉佐和子	文藝春秋
藍を継ぐ海	伊与原新	新潮社
斎藤家の核弾頭	篠田節子	朝日新聞出版
謎の香りはパン屋から	土屋うさぎ	宝島社
皇后は闘うことにした	林真理子	文藝春秋

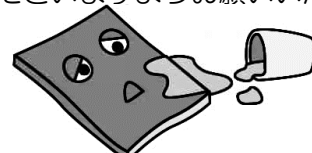


こちらから、蔵書目録や  
新着図書一覧がご覧いただけます。  
どうぞご利用ください。

#### 図書室からのお願い

本の返却期限をお守りください。  
また、汚損された本が多くなりました。  
本を大切に扱ってくださいようお願いいたします。

泣いています！



## 気になることば

### アクティブバイスタンダー＝行動する傍観者

痴漢やセクハラなどの暴力が身近で起きたときに、被害を軽減するために何かしらの行動を起こす第三者のことです。危険が伴うこともあるので、自身の安全が確保できているか確認が必要。実際にはなかなか難しいものなので介入の仕方等の練習も必要です。今、被害を受けている誰かに気づいていたら…性差別的なふるまいを見過ごさないようにしたいものです。

#### アクティブバイスタンダーができる5つの介入方法

注意をそらす

第三者に助けを求める

証拠を残す

あとでフォローする

直接介入する

毎年4月は国の「若年層の性暴力被害予防月間」です。

進学、就職など新生活が始まる時期である4月に、若年層が性暴力の加害者・被害者・傍観者とならないための広報・啓発を集中的に実施しています。「同意のない性行為は性暴力」「被害者は悪くない」という認識を社会全体に広げて行きましょう。



#### 【性暴力等に関連する図書】

性暴力についてかんがえるために：齋藤梓著 一藝社

「助けて」と言える社会へ：大沢真知子著 西日本出版社

男性の性暴力被害：宮崎浩一、西岡真由美著 集英社

男が痴漢になる理由：斉藤章佳著 イースト・プレス

AV出演を強要された彼女たち：宮本節子著 筑摩書房

子どもを守る言葉『同意』って何？：レイチェル・ブライアン著 集英社

当たり前の日常を手に入れるためにー性搾取社会を生きる私たちの闘い：仁藤夢乃著 影書房

クロコダイル ワニみたいに潜む日常のハラスメントと性差別、そしてその対処法：トマ・マチュー著 かもがわ出版



#### 図書室利用案内

はじめて本を借りる方は、名前や住所を確認できるもの(運転免許証等)をお持ちの上、利用登録のお手続きをお願いいたします。

貸出冊数 6冊

貸出期間 4週間

利用時間 午前9時～午後9時30分まで

休館日 年末年始(12月29日～1月3日)、施設メンテナンスの日

#### 練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

〒177-0041 練馬区石神井町 8-1-10

☎ 03 (3996) 9099 (直通)

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/index.html>

